

大分県が一番やけん



県議会議員一年生の活動報告

おおいたけんちゃん新聞

歳末特別号 大分県版

総務企画委員会 県内所管事務調査

- ◆ながたに振興協議会(豊後大野市大銅町黒松) 事業開始の契機と現在事業に参加している人員及び次世代の確保について など
 - ◆東部振興局 高齢者スマートフォン教室の実施状況と地域コミュニティ活性化について など
 - ◆丸山自治会(竹田市久住町白丹) スポーツ合宿誘致に成功した要因について など
 - ◆南部振興局 ガストロノミーツリズムによる情報発信手法検証の詳細について など
 - ◆青山地域コミュニティ協議会(佐伯市青山) 地域振興の2部会から若者部会を独立させた理由及びその効果について など
 - ◆調査箇所:いなめファーム(佐伯市) ちびっこ農園の取組や児童館の子どもの参加状況について など
- ほか、22施設を訪問、調査。

総務企画委員会 県外所管事務調査

- ◆一般社団法人北海道移住交流促進協議会(札幌市) 組織及び事業概要、北海道庁における移住・定住促進施策について など
- ◆ニセコ町役場(企画環境課、まちづくり推進課、など) ニセコ町のまちづくりと移住・定住促進の取組、ニセコリゾート観光協会について など
- ◆蘭越町役場(総務課、企画防災対策室、建設課) 蘭越町の概要、人口推移と現状、まちづくりと移住関連施策について など

ここに、これまでの県議会議員としての活動報告の一部をまとめております。まだまだこれからです。新たな気付きと変わらない信念を胸に、また来年も走り抜けます！

■6月 総務企画委員会 県内所管事務調査
 「ながたに振興協議会(豊後大野市)」の調査では、竹チップ活用のノウハウについて、「浜島酒造合資会社(豊後大野市)」では、観光誘致と海外へのブランディングについて、など、大分県の様々な魅力をしっかりと見てきました。また、「東部振興局」では、高齢者へのスマートフォン教室や地域コミュニティの活性化、「青山地域コミュニティ協議会(佐伯市)」では、過疎化が進む中で若者に魅力を感じてもらえるような地域振興について、など、地域ごとの課題や問題点もしっかりと見てきました。この調査によって、大分県の持つ魅力と課題について、早急に向き合っていくポイントを掴み、県議会議員として、新たな魅力やマッチングを創出していきたいと考えています。



○ニセコ町役場(北海道虻田郡ニセコ町)での様子

令和五年度より、皆様のご支援のおかげで、大分県議会議員として活動することができました。来年度に向け、「大分県が一番やけん！」をモットーに、走り抜けていく所存でございます。改めてまして、県議会議員一年生・首藤健二郎を何卒よろしくお願いたします。

■9月 総務企画委員会 県外所管事務調査
 北海道札幌市では、町の特色や移住者の受け入れについてを調査してきました。官民連携の取り組みについて、今後の大分県の「移住定住促進」の参考になる非常に有意義な調査となりました。また、ニセコ町のまちづくりにおいても、町に住む方々が町を愛して盛り上げに加わっていることに非常に感銘を受け、今後の大分県に必要な「活力」を感じることができました。

大分県から元気になる。
 大分県から発信する。

facebook



Instagram



LINE



大分県議会議員
首藤 健二郎(しゅとう けんじろう)

〒 870-0263 大分県大分市横田2丁目12-14
 ☎ 097-592-3368



令和5年度 首藤健二郎 一般質問の記録

移住・定住施策について

【質問】
地域に活力を取り戻していくための早急な対策として、移住・定住施策にも力を入れるべきだ。先づ多くの人に愛着を持ってもらえる地域にしていくのが重要と考える。北海道のニセコ町では、「定住者が誇りに思える町は移住者にも魅力的」という精神で移住者を引き寄せている。どのように取り組むのか。

【答弁・佐藤樹一郎知事】

「住んでみたい、住んで良かった」と思われる大分県づくりを目指して、市町村との緊密な連携のもと取り組む。議員ご指摘の通り、多くの人に愛着を持ってもらえるよう、おおいたファンを拡大も重要。今後は、旅行ツアーなど追加し、本県の魅力を直に体感してもらうことで、おおいたファンを増やしていきたい。若者が誇りと愛着を持ち続けられるようなふるさとづくりに全力で取り組み、移住・定住の促進を図る。

芸術文化・スポーツを巡る諸課題について

【質問】
我が大分県は、トリニータを始めとする複数のプロスポーツチームを抱えるスポーツ先進県と考える。内川聖二さんは本県の新長期総合計画策定県民会議の委員でもあり現場を熟知するプロのアイデアを取り入れることも大事。大規模

なプロスポーツを開催する際、いつも付きまとう課題は交通アクセスである。どのように取り組むのか。

【答弁・佐藤樹一郎知事】
スポーツには観る人々を夢中にし、感動させる力がある。県内には、本県を本拠地とするプロスポーツチームが5つあり、これまでも選手たちによる学校訪問や地域イベントへの参加等を通じて地域との交流を支援してきた。他方、プロスポーツチームのキャンプや合宿、大規模スポーツ大会の誘致などにも力を入れている。ご指摘の大分スポーツ公園における交通アクセスの課題については、部局横断によるプロジェクトチームを設け、あらゆる角度から幅広く検討したい。



多くなっており、カーボンニュートラルの実現が急務である。特に今後力を入れたい産業部門を中心に、大分県版カーボンニュートラルにどのように取り組んでいくのか。

【答弁・生活環境部長】
今年度から大分県版カーボンニュートラルを開始。本県は日本有数のものづくり県であり、貴重な財産である産業を持続的に発展させつつ、県全体で脱炭素化を進めることが重要である。「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議を立ち上げ、将来目指すべき姿について議論しているところ。本年8月に電力使用量の削減等に取り組む県内企業を支援する「おおいたグリーン事業者認証制度」を創設し、現在47社を認証。その環境配慮経営をPRすることで企業価値を高め、投資を呼び込む支援を行う。

働き方改革について

【質問】
「長時間労働の是正」「正規・非正規の不合理な処遇差の解消」「多様な働き方の実現」この3本柱で構成されている働き方改革関連法の施行から5年経過した。時間外労働の上限規制の猶予期間が終了しようとしている今、労使紛争の解決機関である労働委員会が扱っている事件の現場と課題は。

【答弁・労働委員会事務局長】

近年の不当労働行為事件等については、労働組合の組織力の低下や労使関係の熟成化等もあり、年間4件程度で推移している。労使間での労働法制に対する認識のずれやコミュニケーション不足に起因しているように考えられる。毎年300件程度の相談が寄せられており、今後、多様な働き方の進展により、労使紛争の増加や問題の多様化も懸念される。労使関係団体への訪問等を通じ働き方改革の影響も捉えながら労使紛争の早期解決と安定的な労使関係の構築に努めていく。



大分県版カーボンニュートラルについて

【質問】
地球温暖化や気候変動問題、そしてその対策としてのカーボンニュートラルは身近に迫ってきている。本県は、九州唯一の製油所を始め、粗鋼生産量や粗鋼生産量全国一の企業、半導体や自動車関連企業など多様な製造業がバランスよく立地しているが、人口当たりのCO2排出量は全国で一番

【答弁・企画振興部長】
第3期文化創造戦略では、芸術文化ゾーンにおける文化施設や商店街などとの連携を主要な取組の一つに掲げている。近接するホルトホールやコンパルホールも含め、それぞれの特色を生かした利用促進策について、関係者で検討してみたい。今後とも、芸術文化ゾーンを形成する様々な団体との連携を一層強化し、芸術文化の力を最大限に活用した社会的、経済的な価値の創造に取り組んでいく。



大分のために、
まだまだこれから。
走り続けるけん！

大分県議会議員

首藤 健二郎 (しゅとう けんじろう)

プロフィール

- 1960年 (昭和35年) 竹田市にて誕生
- 1975年 (昭和50年) 大分県立竹田高等学校入学
- 1978年 (昭和53年) 大分県立竹田高等学校卒業
- 1978年 (昭和53年) 早稲田大学文学部入学
- 1984年 (昭和59年) 早稲田大学文学部中退
- 1985年 (昭和60年) 父他界の為、竹田に帰郷。家業の首藤洋服店を継承
- 1989年 (平成元年) OBSからのスカウトによりOBSラジオでパーソナリティーデビュー
- 1992年 (平成4年) OBSテレビ「バラバラ生5」夕方生放送に出演
- 1995年 (平成7年) MBS「西日本8局てれび」にゲスト出演
- 1996年 (平成8年) OBSテレビ「かぼすタイム」で中継レポーター出演
- 1998年 (平成10年) TBS「ワンダフル」に豊後のスーパースターとして出演
- 1998年 (平成10年) 劇場版「ミナミの帝王」に出演
- 2000年 (平成12年) 「第29回広告大賞・地方CM部門」でグランプリ受賞
- 2001年 (平成13年) 「おおいた捕物帳」大分県広報番組に出演
- 2010年 (平成22年) OBSラジオ「HAMARooooNステーション」生放送に出演
- 2017年 (平成29年) 竹田市議会議員選挙 初当選
- 2023年 (令和5年) 大分県議会議員選挙 初当選



けんちゃんの事務所を開設したけん!
お気軽にお立ち寄りください。

大分県議会議員 首藤 健二郎 事務所 〒870-0263 大分県大分市横田2丁目12-14
☎ 097-592-3368

